

なごやと陶磁器の歴史

名古屋では様々な陶磁器が作られ、人々の生活を支える役割を担ってきました。名古屋で作られた陶磁器が、多くの人に愛されていることを知り、陶磁器に関わる施設を訪ねたり、絵付け体験をしたりして、名古屋の魅力を再発見しませんか。



講師
名古屋大学大学院
人文学研究科
人文学専攻
教授(考古学)
梶原 義実

【講師プロフィール】
滋賀県出身。

2024年 5月22日(水)

時間 10:00~12:00(開場9:30)

場所 名古屋市東生涯学習センター視聴覚室(2階)

定員 55人 対象 どなたでも 持ち物 筆記用具



【経歴】

1997年3月 京都大学文学部卒業、2001年3月京都大学大学院文学研究科考古学専修博士後期課程を修了、2001年4月京都大学埋蔵文化財研究センター助手に着任、2003年10月名古屋大学大学院文学研究科講師、2010年4月同准教授を経て、2021年4月より現職。

【書籍】

『国分寺瓦の研究ー考古学からみた律令期生産組織の地方的展開ー』(名古屋大学出版会 2010年)
『古代地方寺院の造営と景観』(吉川弘文館 2017年)

- 公開講座は、当日、講座開始30分前(午前9時30分)から先着順での入場となります。ただし、定員を超えた時点で、入場できませんので、ご了承ください。
- 発熱などの症状がある方、体調不良の方は受講をご遠慮ください。
- 公開講座は、多くの市民に幅広い学びのきっかけとなるように、無料で受講できるものです。そのため、講座受講者の方も先着順での入場となりますので、ご理解ください。
- ★手話通訳等を希望される方は、事前にご相談ください。
- ★暴風警報等が、主催講座・事業の開始2時間前に発令されているとき、または、開始2時間前から終了時刻までの間に発令されたときは、中止、または延期します。

お問合せ

名古屋市東生涯学習センター

☎052-932-4881

住所 : 名古屋市東区葵1丁目3番21号

【地下鉄】東山線「新栄町」1番出口 北約300m、桜通線「高岳」3番出口 南東約600m

【市バス】鶴舞11、栄15、栄12「布池」下車 南約200m